

男女格差116位「日本取り残されている」

上野千鶴子氏 会見で指摘

社会学者の上野千鶴子・東京大学名誉教授らは20日、厚生労働省で会見を開き、日本のジェンダーギャップランキングが116位と低迷していることについて「男女の賃金格差はわずかに向上しているが、他国の変化が早い。そのため日本は取り残されている。(歴代)政権が放置してきたということだ」と指摘した。

参院選前の6月、政府が男女の賃金格差について企業に開示を義務化させると決めたことを踏まえ、上野氏は「ようやくジェンダー課題が争点になってきた」と語った。

この日の会見は、公益財団法人「パブリックリソース財団」が主催した。次世代の女性リーダーを育てるため、1人あたり100万円の活動奨励金を支給する「女性リーダー支援基金」の今年度の公募を発表した。上野氏は審査委員長を務めている。昨年137人が応募し、若者の政治参加を後押しする団体「NO YOUTH NO JAPAN」代表の能條桃子さんから5人が選ばれた。